

褥瘡ハイリスク患者ケア加算に係る報告書

医療機関コード番号	保険医療機関の名称

褥瘡対策の実績（報告月の前月の１ヶ月間の実績・状況）		
① 入院患者数（報告月の前月の１ヶ月間の入院患者数）		
② ①のうち、褥瘡リスクアセスメント実施人数		名
③ ②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者数		名
褥瘡 ハイ リス ク 項 目	１． ショック状態のもの	名
	２． 重度の末梢循環不全のもの	名
	３． 麻薬等の鎮痛・鎮静剤の持続的な使用が必要であるもの	名
	４． ６時間以上の全身麻酔下による手術を受けたもの	名
	５． 特殊体位による手術を受けたもの	名
	６． 強度の下痢が続く状態であるもの	名
	７． 極度の皮膚の脆弱（低出生体重児、GVHD、黄疸など）	名
	８． 褥瘡に関する危険因子（病的骨突出、皮膚湿潤、浮腫等）があつて既に褥瘡を有するもの	名
④ ③の患者の褥瘡の重症度		
	入院時の褥瘡（③の患者の入院時の状況）	院内発生した褥瘡（③の患者の発見時の状況）
d1	名	名
d2	名	名
D3	名	名
D4	名	名
D5	名	名
DU	名	名
⑤ 本加算を算定した人数		名

〔記載上の注意〕

- 褥瘡対策の実施状況については、報告月の前月の件数を記入すること。
ただし、１名の患者が複数の褥瘡を有していても、患者１名として数えることとする。
- ①については、報告月の前月１ヶ月間に入院していた患者の実人数を

記入する。

3 ②については、①のうち、褥瘡リスクアセスメントを実施した患者の実人数を記入する（1名の患者について複数回、褥瘡リスクアセスメントを実施した場合も、患者1名として数える）。

4 ③については、②のうち、褥瘡ハイリスク項目に該当する患者の実人数を記入する（1名の患者について複数の褥瘡ハイリスク項目を有していても、患者1名として数える）。

褥瘡ハイリスク項目の各項目については、1名の患者につき、複数の要因がある場合は、それぞれに1名として数えることとする（複数回答）。

5 ④については、③の褥瘡ハイリスク項目に該当する患者の入院時の褥瘡の重症度及び院内発生の発見時の褥瘡の重症度について記入する。